

科目名	新	社会学	担当者	服部 慶亘	部別	第一部	期間	通年	単位数	4
	旧	社会学								

【授業概要】

〔授業目的〕	人間は、一人で生きてゆくことの出来ない弱い存在である。故に、共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また、社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。このような現実を、理論的・実践的に理解していきたい。
〔履修条件〕	特になし
〔授業方法〕	受講生自身も陥りがちな問題行動を例示し、講義する。教科書・参考書・プリント・板書を理解の助けとする。
〔評価方法〕	学年末試験（80%）と平常点（出席状況10%、受講態度5%、小レポート5%）により、総合的な評価をする。試験は論述式で実施する。
〔教科書〕	服部慶亘『補強版ストレス・スパイラル』人間の科学社、2004年（経済学部7号館横の丸沼書店で販売）
〔参考書〕	追って指示する

【授業区分】

区分	授業内容	区分	授業内容
1	ガイダンス（講義の方針、展開方法、目標など）	16	問題行動の根源 「問題行動」のとらえ方
2	状況（情況）判断	17	視聴覚機器による問題行動の理解
3	社会（学）とは何か？	18	問題行動の根源 同調行動
4	社会的動物としての人間 Double Happiness	19	問題行動の根源 他人志向
5	社会的動物としての人間 生理的早産	20	視聴覚機器による問題行動の理解
6	人間関係の諸相と構造 総論	21	問題行動の根源 行為と行動
7	人間関係の諸相と構造 地位（status）	22	問題行動の根源 日本（人）的「愛」「共感性」
8	人間関係の諸相と構造 役割（role）	23	問題行動の根源 罪
9	人間関係の諸相と構造 アイドル（idol）工学	24	問題行動の誤対処 アノミー（anomie）
10	「らしさ」の培養 文化（culture）	25	問題行動の誤対処 リセット願望とリロード願望
11	「らしさ」の培養 パーソナリティ（personality）	26	問題行動の誤対処 人生縮小化と「甘え」
12	「らしさ」の培養 ジェンダー（gender）	27	問題行動の誤対処 防衛機制
13	「らしさ」の培養 県民性	28	問題行動の誤対処 価値判断
14	実験演習	29	実験演習
15	前半まとめ	30	まとめ